

# 令和7年度事業報告書

虹のそらこども園

## 1. 教育・保育目標

令和7年度は、「好奇心を育む環境をみんなで考えてみよう。」「園の情報を地域に発信し、共生社会を目指す」を年間のテーマとして取り組んだ。

環境は、日々の保育や園生活において常に取り組んでいる内容であるが、令和7年度は、新入園児として、聴覚障がいの園児の入所や、配慮の必要な園児もあり、どの子も好奇心を育みながら遊べる環境を考えることを念頭において保育、教育を行った。

クラスの担任は、目で見えて一日の行動がわかるようなスケジュール表を作成し保育室に掲示したり、簡単なカードとジェスチャーで、トイレへ行くや帽子をかぶるなどを知らせたり、園外保育については、行く場所の写真を見せたりして、日々の生活習慣を知らせることで、周りの友達も気にかけて一緒に過ごすことができていた。

その結果、聴覚障がいの園児については、周りのお友達と遊んだりダンスをしたりして過ごし言葉も少しずつ出るようになり、楽しそうに遊ぶ姿も見られるようになってきている。

個々に興味のある遊びを見つけて、遊ぶ場所も考えながらじっくり楽しむことができていたことは、年間のテーマとして取り組めて良かったと思う。

また、「園の情報を地域に発信し、共生社会を目指す」という年間テーマについても、コロナが落ち着き、地域の方々や高齢者施設、関連の保育施設等と交流の機会をもち、コロナ前の生活に戻すことができている。

## 2. 入園状況

| 定員延人数      | 年間延人数     | 年令別状況 |     |     |                |                |                |
|------------|-----------|-------|-----|-----|----------------|----------------|----------------|
| 2・3号<br>1号 | 720<br>72 | 0歳    | 1歳  | 2歳  | 3歳             | 4歳             | 5歳             |
|            |           | 76    | 144 | 144 | 179<br>(内1号21) | 180<br>(内1号12) | 168<br>(内1号12) |

| 項 目     | 定員    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 計     |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0歳児     | 9     | 3     | 3     | 4     | 4     | 5     | 7     | 8     | 8     | 8     | 8     | 9     | 9     | 76    |
| 1歳児     | 10    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 144   |
| 2歳児     | 11    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 12    | 144   |
| 3歳児     | 10    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 14    | 14    | 158   |
| 4歳児     | 10    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 168   |
| 5歳児     | 10    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 13    | 156   |
| 3歳児(1号) | 2     | 1     | 2     | 2     | 2     | 2     | 2     | 2     | 2     | 2     | 2     | 1     | 1     | 21    |
| 4歳児(1号) | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 12    |
| 5歳児(1号) | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 12    |
| 合 計     | 66    | 70    | 71    | 72    | 72    | 73    | 75    | 76    | 76    | 76    | 76    | 77    | 77    | 891   |
| 稼働率(%)  | 100.0 | 106.1 | 107.6 | 109.1 | 109.1 | 110.6 | 113.6 | 115.2 | 115.2 | 115.2 | 115.2 | 116.7 | 116.7 | 112.5 |

※年間平均稼働率

### 3. 各特別保育事業

#### (1) 延長保育事業

令和7年度は、年間目標の人数を1,300名としていたが、両親の休暇の取り方や、時短での働き方もあるのか、若干名目標を下回る結果となった。

国の制度の見直し等で、若干の利用の変化が今後も起こりうると考えられる。

#### ●延長保育利用実績

| 月   | 目標定員  | 開所日数(日)<br>< >内は、利用日数 | 実利用人数(人)<br>( )内は、短時間保育児 | 延べ利用人数(人)<br>( )内は、短時間保育児 |
|-----|-------|-----------------------|--------------------------|---------------------------|
| 4月  | 110   | 25 <20>               | 20 (1)                   | 102 (1)                   |
| 5月  | 110   | 24 <20>               | 21 (1)                   | 117 (1)                   |
| 6月  | 110   | 25 <21>               | 16 (1)                   | 112 (1)                   |
| 7月  | 110   | 26 <22>               | 26 (3)                   | 100 (3)                   |
| 8月  | 110   | 25 <21>               | 19 (0)                   | 66 (0)                    |
| 9月  | 110   | 25 <20>               | 14 (0)                   | 87 (0)                    |
| 10月 | 110   | 26 <22>               | 16 (2)                   | 106 (12)                  |
| 11月 | 110   | 23 <18>               | 12 (0)                   | 67 (0)                    |
| 12月 | 110   | 24 <20>               | 15 (1)                   | 96 (1)                    |
| 1月  | 110   | 23 <19>               | 10 (0)                   | 76 (0)                    |
| 2月  | 100   | 22 <18>               | 16 (0)                   | 66 (0)                    |
| 3月  | 100   | 25 <21>               | 21 (0)                   | 73 (0)                    |
| 合 計 | 1,300 | 293 <242>             | 206 (9)                  | 1,068 (19)                |

| 標準時間<br>(18:00~19:00) |         | 短時間<br>(7:00~8:30)<br>(16:30~18:00) |              | 短時間<br>(18:00~19:00) |         |
|-----------------------|---------|-------------------------------------|--------------|----------------------|---------|
| 階 層                   | 保育料 (円) | 階 層                                 | 保育料 (円)      | 階 層                  | 保育料 (円) |
| 月 額                   | 2,600   | 全階層                                 | 30分ごと<br>100 | 月 額                  | 2,600   |
| 日 割                   | 260     |                                     |              | 日 割                  | 260     |
| B階層月額                 | 1,300   |                                     |              | B階層月額                | 1,300   |
| B階層日割                 | 130     |                                     |              | B階層日割                | 130     |
| A階層月額                 | 0       |                                     |              | A階層月額                | 0       |
| A階層日割                 | 0       |                                     |              | A階層日割                | 0       |

## （２）一時保育事業

保護者の勤務や病気、育児疲れの解消など、様々な理由で一時的に保育できなくなった時にこども園で子どもを預かる制度である。

令和７年度は、昨年度に比べると、約２８０名減少となった。

これは、０歳児の利用が多く、人手不足から職員の配置が難しく、やむを得ず人数の制限をせざるを得なかったことが減少に繋がった。

### ●一時保育（一般型）利用

実績

| 内 訳      | ４ 月    |     | ５ 月  |         | ６ 月  |     |
|----------|--------|-----|------|---------|------|-----|
| 一時預かり    | 実人数    | 延人数 | 実人数  | 延人数     | 実人数  | 延人数 |
|          | 11     | 75  | 15   | 99      | 16   | 108 |
|          | ７ 月    |     | ８ 月  |         | ９ 月  |     |
|          | 実人数    | 延人数 | 実人数  | 延人数     | 実人数  | 延人数 |
|          | 17     | 109 | 17   | 97      | 20   | 117 |
|          | 10 月   |     | 11 月 |         | 12 月 |     |
|          | 実人数    | 延人数 | 実人数  | 延人数     | 実人数  | 延人数 |
|          | 22     | 143 | 23   | 115     | 21   | 107 |
|          | １ 月    |     | ２ 月  |         | ３ 月  |     |
|          | 実人数    | 延人数 | 実人数  | 延人数     | 実人数  | 延人数 |
|          | 24     | 120 | 23   | 102     | 25   | 140 |
| 利用延べ人数合計 | 実人数（人） |     |      | 延べ人数（人） |      |     |
|          | 234    |     |      | 1,332   |      |     |

### ●一時保育（はじめて保育 ママ・パパリフレッシュ事業）利用

令和５年９月より、新たに松山市のモデル事業として、公立２園、私立２園に依頼があり、自園が受けることとなり行ってきたが、制度が、こども誰でも通園と重複するため、今年度で終了となった。

実績

定員：１日 ３名

|          |        |         |
|----------|--------|---------|
| 利用延べ人数合計 | 実人数（人） | 延べ人数（人） |
|          | 29     | 58      |

### ●一時保育（幼稚園型）利用

幼保連携型認定こども園へ移行したことで、１号認定の園児に対して、一時的に、教育時間外に預かりを行う制度である。

昨年度に比べ、延べ人数は、約１６０名の増加となっている。

実績

|          |        |         |
|----------|--------|---------|
| 利用延べ人数合計 | 実人数（人） | 延べ人数（人） |
|          | 45     | 253     |

### (3) 障がい児保育事業

3歳児 2名、先天性心疾患、聴覚障がいの診断を受けている。

4歳児 2名、発達障がいのため療育に通っている。

5歳児 2名、5歳児検診を受け、その後療育と連携をとった。

## 4. 人 事

- ・令和8年3月31日付けで、正規保育士が1名、正規調理員1名が退職となった。

## 5. 財 務

- ・今年度は、園児112.5%の平均稼働率となり、約840万円の黒字となった。昨年度より収支の改善をはかることができた。

収入を上げることができた分、人件費率も76%となった。

しかし、これに甘んじることなく、常に収支を検証し、節約と共に収支の均衡を考えていきたい。

## 6. 施設管理

- ・0歳児クラス（ひよこ組）のテントの修繕を行った。
- ・給食室の洗浄機を修理した。
- ・園庭の電波時計が破損したため新たに購入した。

## 7. 保護者と近隣との問題

保護者からの大きな苦情や問題点はなく、一年を終えることができた。

地域の行事については、公民館活動や移動図書等、積極的に参加することができた。

いろいろなことに参加させていただくことで、地域の方々は、こども園に対して協力し、くださることが増えてきている。

朝の石井北小学校の通学路見守りについては、創業依頼途絶えることなく、地域交流に対するの理念を具現化している。

そして、地域の方々とはお互いの協力体制を整え、子どもとお年寄りとの共生活動に繋げていくことができた。また、災害時等も助け合える関係づくりを構築している。

## 8. 異世代交流事業

①石井北小学校・・・町探険学習（2年生）

②南中学校・椿中学校・・・職場体験（2年生）

③大洗高等学校・・・子ども子育て連絡協議会と協賛し、大洗高校マーチングバンドを迎え披露した。

③なないろの会・・・ライフサポート友伍 シニアハイツ友伍 グループホームだんだん  
地域ボランティアの方々 等 月1回程度実施

④ゆうりん苑交流会・・・運動会で行った鼓笛隊を披露。また、七夕飾りや、門松づくり  
など交流を行う。

⑤にじいろ広場・・・地域の子育て家庭に呼びかけ、園内・園庭開放を行ったり、子育ての悩みの相談を受けたりしながら交流を行う。

⑥公園清掃・マイロード清掃・・・シニアハイツ友伍の職員やゆうゆうの園児と虹のそらの園児で、月1回実施

⑦朝の通学路の見守り・・・職員が毎日実施

また、食育をテーマにすることにより、保育士、栄養士、調理員などの異なる職種の職員が意見を出し合って話し合うことの必要性について再認識することができた。今後も、それぞれの専門分野での知識を活かしながら、意見を出し合うようにしていきたいと思った。

令和7年度4月は、定員19名のところ17名のスタートであったが、5月には19名となり、それ以降も定員以上の園児を受け入れることができた。年間の平均園児数は20名となり、年間延べ人数は241名であった。令和7年度は、令和6年度の年間延べ人数239名と比較すると2名の増加となった。

| 定員延人数 | 年間延人数 | 年齢別状況     |           |           |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 228   | 241   | 0歳児（定員6名） | 1歳児（定員6名） | 2歳児（定員7名） |
|       |       | 55        | 84        | 102       |

[illegible]

### 3. 各特別保育事業

#### (1) 延長保育事業

令和7年度4月から6月は利用人数が少なかったが、園児数の増加に伴い7月以降は延長保育を利用する園児も増えた。保護者の就労状況により、利用する園児は月によって異なっていた。仕事が忙しい時期である、職場や就労時間の変更をしたなどの理由で延長保育を利用している園児が数名と、その他に単発的に仕事が長引いて利用する園児が多くいた。

令和7年度は年間延べ人数が174名であったが、令和6年度137名と比較すると37名の増加となった。

#### ●延長保育利用実績

|     | 開所日数（人）<br>＜ ＞内は標準時間の園児利用日数 | 実利用人数（人）<br>＜ ＞内は保育短時間の園児 | 延べ利用人数（人）<br>＜ ＞内は保育短時間の園児 |
|-----|-----------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 4月  | 25<0>                       | 0<2>                      | 0<10>                      |
| 5月  | 24<3>                       | 1<1>                      | 3<1>                       |
| 6月  | 25<4>                       | 3<0>                      | 5<0>                       |
| 7月  | 26<15>                      | 6<0>                      | 22<0>                      |
| 8月  | 25<12>                      | 4<2>                      | 15<3>                      |
| 9月  | 24<13>                      | 5<0>                      | 20<0>                      |
| 10月 | 26<14>                      | 7<0>                      | 20<0>                      |
| 11月 | 23<10>                      | 6<0>                      | 17<0>                      |
| 12月 | 24<18>                      | 5<0>                      | 27<0>                      |
| 1月  | 23<12>                      | 3<1>                      | 14<1>                      |
| 2月  | 22<15>                      | 4<1>                      | 19<1>                      |
| 3月  | 25<11>                      | 6<1>                      | 12<2>                      |
| 合計  | 292<127>                    | 50<8>                     | 174<18>                    |

|             |      |         |
|-------------|------|---------|
| 保育料（保育標準時間） | 月額   | 2,600 円 |
| 保育料（保育標準時間） | 日額   | 260 円   |
| 保育料（保育短時間）  | 30 分 | 100 円   |

(2) 一時預かり事業

令和7年度は、年間延べ人数が1514名であった。例年よりも登録人数が増え、保護者の就労により利用しているケースが多かった。

令和6年度の年間延べ人数1405名と比較して、109名の増加となった。

●一時預かり利用実績

| 内訳          | 4月          |     | 5月           |     | 6月  |     |
|-------------|-------------|-----|--------------|-----|-----|-----|
| 一時預かり<br>事業 | 実人数         | 延人数 | 実人数          | 延人数 | 実人数 | 延人数 |
|             | 17          | 110 | 15           | 104 | 18  | 100 |
|             | 7月          |     | 8月           |     | 9月  |     |
|             | 実人数         | 延人数 | 実人数          | 延人数 | 実人数 | 延人数 |
|             | 18          | 126 | 19           | 92  | 20  | 118 |
|             | 10月         |     | 11月          |     | 12月 |     |
|             | 実人数         | 延人数 | 実人数          | 延人数 | 実人数 | 延人数 |
|             | 25          | 135 | 25           | 131 | 24  | 155 |
|             | 1月          |     | 2月           |     | 3月  |     |
|             | 実人数         | 延人数 | 実人数          | 延人数 | 実人数 | 延人数 |
|             | 29          | 151 | 26           | 127 | 25  | 165 |
| 利用延人数合計     | 実人数 261 (人) |     | 延人数 1514 (人) |     |     |     |

(3) 障がい児保育事業

0歳児 1名 (ダウン症候群)

定期的に愛媛県立子ども療育センターに通う。連携を取り助言をいただきながら子どもと関わったり、保護者支援を行ったりした。

4. 人事

令和7年9月30日付で、常勤調理員1名退職

令和7年10月1日付で、常勤保育士1名、常勤調理員1名 採用

令和8年3月31日付で、常勤保育士3名退職

5. 財務

令和7年度は、年間の一般保育入所稼働率が105.7%であった。0歳児の園児数が定員6名のところ5名であったので地域型給付費が減った。また、令和6年度よりも障がい児保育加算(人数)が減った。しかし、加配保育士や、一時預かり事業等の補助金が増加したことにより財務の安定を図った。

## 6. 施設管理

- ・ 施設機能強化推進費では、防災用のおさんぼ車を購入した。
- ・ 室内の照明を LED 蛍光灯に付け替える工事を行った。

## 7. 保護者と近隣との問題

- ・ 新入園児と進級児希望者の家庭訪問を行った。家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたり、日頃の子育てに対する不安なことなどの聞き取りをして助言を行ったりした。
- ・ 配慮が必要な家庭に対しては、個人面談を行うようにし相談できる機会を多く設けた。
- ・ 年度末に希望の保護者の個人面談を行い、卒園や進級後の相談をした。
- ・ 登降園の際には、できるだけ担任が対応できるようにして、信頼関係を築いていった。個々の状況を把握することに努め、必要に応じて個別的に相談する場を作るようにした。
- ・ 例年と同じく重信川の氾濫を想定して、事前にドゥエル椿参道マンションに住人の方に連絡をし、上階に避難する訓練を行った。

## 8. 地域との交流

- ・ 居相町内会の方と交流をする。花いっぱい運動に参加し、椿公園で花の苗を植える手伝いをした。
- ・ 居相ふれあい農園と交流をする。じゃがいも堀りをしたり、収穫した冬野菜を取りに行つて給食で食べたりした。また、七草の日には、お正月の伝承遊び一緒に楽しんだ後、七草うどんを食べた。
- ・ 災害を想定して、地域の避難場所である石井公民館や南中学校と事前に打ち合わせをした後、避難訓練を行った。
- ・ 居相地区の防災訓練に参加し、災害時の対応方法や、ケガの応急処置について学んだ。
- ・ 子育て支援ネットワーク情報交換会に参加した。



## ゆうりん苑 令和7年度事業報告

### 1. はじめに

今年度は、2025年問題として注目されていた「団塊の世代」が全員75歳以上となる年であり、医療・介護の社会保障の増大、人手不足の問題、また、物価高騰、米の価格上昇など、ゆうりん苑も正に直面して影響を受けた年であった。運営については、特養、ショートで空床があり厳しい状況であったが、デイサービスで目標以上に利用者が増加し、また、物価高騰等の補助金などのお陰もあり、施設全体としては安定した運営を行うことができた。

年度末に施設長の突然のご逝去により、一時、施設全体が悲しみと混乱の状況となったが、理事長が臨時で指揮を取り、組織体制を維持することができた。

故永田粹睦施設長につきましては、長年、ゆうりん苑の運営に多大な功績をされ、心からの感謝と共にご冥福をお祈り申し上げます。

### 2. 事業報告

#### (1) 高齢者総合福祉施設ゆうりん苑（地域密着型特別養護老人ホーム）

定員 29 名

（特養利用者数の状況）

※各月1日現在の数字

| (人)     | 2025（令和7）年度 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 計<br>(平均) |
|---------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|         | 4月          | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |           |
| 入居者延べ人数 | 781         | 825 | 824 | 877 | 839 | 810 | 797 | 789 | 817 | 862 | 790 | 839 | 9,850     |
| 在籍者数    | 27          | 26  | 27  | 28  | 28  | 27  | 27  | 26  | 27  | 27  | 29  | 28  |           |
| 入所者数    | 2           | 1   | 2   | 1   |     |     |     | 1   | 1   | 1   | 1   |     | 10        |
| 退所者数    | 1           |     | 1   | 1   | 1   |     | 1   |     | 1   |     | 1   | 1   | 8         |
| 死亡退所    |             |     | 1   | 1   | 1   |     | 1   |     | 1   |     | 1   | 1   | 7         |
| その他     | 1           |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 1         |
| 稼働率(%)  | 90%         | 92% | 95% | 98% | 93% | 93% | 89% | 91% | 91% | 96% | 97% | 93% | 93.1%     |

（特養利用者の内訳）

| (人)  | 2025（令和7）年度 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 計   |
|------|-------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|      | 4月          | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |     |
| 要介護1 |             |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 要介護2 |             |    |    | 1  | 1  | 1  | 1   | 2   | 1   | 1  | 1  | 1  | 10  |
| 要介護3 | 7           | 6  | 6  | 4  | 4  | 4  | 4   | 5   | 7   | 9  | 9  | 8  | 73  |
| 要介護4 | 14          | 15 | 17 | 17 | 16 | 15 | 15  | 14  | 14  | 12 | 13 | 13 | 175 |
| 要介護5 | 6           | 6  | 6  | 7  | 7  | 7  | 7   | 6   | 6   | 6  | 6  | 6  | 76  |
| 計    | 27          | 27 | 29 | 29 | 28 | 27 | 27  | 27  | 28  | 28 | 29 | 28 | 334 |

## ① ユニットケアの実現とケアに対する意識の変革を推進

- ・サービス向上委員会や全体職員会議等で、ユニットケアの意義や実現に向け、協議し、申し伝えることを継続してきた。
- ・一番優先されることは、入居者への言葉がけや対応方法（敬意と尊厳を持つこと）。
- ・お一人おひとりのケアの方法を理解する。
- ・各ユニットの環境整備（居室、トイレ、玄関、共有スペースなど）を行う。
- ・結果として職員個々に入居者へ向き合う姿勢への改善がみられ、入居者の皆様に楽しい生活を送っていただくという意識が向上した。
- ・8名退所の内、4名が看取りにより穏やかに最期を迎えることができ、ご家族にも24時間居室へ出入りできる環境を整え、最期まで一緒にお過ごしいただけるよう支援した。看取り後のデスカンファレンスを行い、看取りまでの一連のケアについて協議、反省し、次につなげるよう努めた。

## ② 入居状況

- ・目標稼働率97%に対して、3.9%下回る93.1%の結果となった。
- ・今年度は約1ヶ月毎に1名退所され、待機者の確保が追い付かず、1～2室空床が続いたことが要因である。
- ・7月までに6名入所されたものの、待機者がほぼゼロとなり、8月以降は毎日の訪問や案内活動を行い、見学や問い合わせはあったものの11月まで契約には繋がらなかった。
- ・地域医療連携室や居宅訪問の成果により、ショート新規利用者が増加し、特養の空床利用により稼働率低下の歯止めとなった。

### (2) ショートステイゆうりん 定員10名

(ショートステイ利用者数の状況)

|         | 2025（令和7）年度 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 計     |
|---------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
|         | 4月          | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |       |
| 利用者数(人) | 195         | 204 | 224 | 251 | 183 | 168 | 246 | 202 | 216 | 236 | 213 | 228 | 2,566 |
| 稼働率(%)  | 65%         | 66% | 75% | 81% | 59% | 56% | 79% | 67% | 70% | 76% | 76% | 74% | 70.3% |

(ショートステイ利用者数の内訳)

| (人)  | 2025（令和7）年度 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 計   |
|------|-------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|      | 4月          | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |     |
| 要支援1 |             |    |    |    | 1  | 2  |     |     | 1   | 2  |    |    | 6   |
| 要支援2 |             |    | 1  |    |    | 1  | 3   |     | 1   |    |    |    | 6   |
| 要介護1 | 4           | 5  | 6  | 8  | 6  | 4  | 5   | 6   | 5   | 5  | 5  | 7  | 66  |
| 要介護2 | 5           | 5  | 3  | 3  | 4  | 3  | 2   | 4   | 2   | 3  | 4  | 2  | 40  |
| 要介護3 | 1           | 4  | 5  | 5  | 4  | 6  | 6   | 9   | 8   | 8  | 6  | 6  | 68  |
| 要介護4 | 2           | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1   | 2   | 2   | 2  | 2  | 3  | 19  |
| 要介護5 | 2           | 1  | 2  | 1  | 2  | 2  | 3   | 2   | 2   | 2  | 3  | 1  | 23  |
| 計    | 14          | 16 | 18 | 18 | 18 | 19 | 20  | 23  | 21  | 22 | 20 | 19 | 228 |

### ① ご利用者満足のサービスの提供

ショートへの人事異動を行い、マンネリ化を防止し細やかな生活支援・環境整備等のサービス提供をユニット職員一丸となって行った。

対応に関してご利用者・ご家族・ケアマネジャーからの指摘事項はなく良好な運営を行った。

また、転倒リスクの高い方が多く利用されており、安全対策の徹底を行い軽微な事故は数件あったが、受診等が必要な事故は防ぐことができ、リスクに対しての意識の向上ができた。

### ② 目標稼働率

・目標稼働率 85%に対して、14.7%下回る 70.3%の結果となった。

・今年度の新規利用は 38 名獲得し、7 割の方は定期利用に繋がっているが、短期間の利用のため稼働の上昇と安定には繋がっていない状況となった。

・ロング利用の方も平均 5 名利用されたが、ゆうりん苑の特養入所待ちではなく、他施設へ入所されたため、ショートから特養へのスムーズな稼働継続が途絶えてしまった。

・合計 6 名の緊急ショートの受け入れを柔軟に対応し、今後の継続利用に繋がるよう、居宅介護支援事業所との信頼関係を構築するよう努めた。

・定期的な居宅介護支援事業所等への営業活動に力を入れて施設のアピールを行った。

### (3) デイサービスゆうりん

(デイサービス利用者数の状況)

※ 1 日 23 人定員

|           | 2025 (令和7) 年度 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 計     |
|-----------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
|           | 4月            | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |       |
| 利用延べ人数(人) | 420           | 463 | 466 | 507 | 461 | 464 | 479 | 471 | 469 | 447 | 427 | 469 | 5,543 |
| 開所日数(日)   | 26            | 27  | 25  | 27  | 26  | 26  | 27  | 25  | 26  | 25  | 24  | 26  | 310   |
| 利用率(%)    | 70%           | 75% | 81% | 82% | 77% | 78% | 77% | 82% | 78% | 78% | 77% | 78% | 77.7% |

(デイサービス利用者数の内訳)

| (人)   | 2025 (令和7) 年度 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 計   |
|-------|---------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|       | 4月            | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |     |
| 要支援 1 | 8             | 9  | 8  | 8  | 8  | 7  | 6   | 6   | 6   | 7  | 6  | 6  | 85  |
| 要支援 2 | 15            | 14 | 15 | 15 | 15 | 14 | 14  | 15  | 16  | 16 | 13 | 13 | 175 |
| 要介護 1 | 16            | 16 | 15 | 15 | 16 | 18 | 18  | 18  | 15  | 16 | 17 | 17 | 197 |
| 要介護 2 | 4             | 4  | 7  | 7  | 6  | 6  | 7   | 6   | 7   | 7  | 8  | 8  | 77  |
| 要介護 3 | 5             | 5  | 5  | 5  | 4  | 5  | 5   | 5   | 6   | 6  | 6  | 6  | 63  |
| 要介護 4 | 1             | 1  | 1  | 1  | 2  | 3  | 2   | 2   | 2   | 1  | 1  | 2  | 19  |
| 要介護 5 | 1             | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1   | 1   | 1   | 1  | 1  | 1  | 12  |
| 計     | 50            | 50 | 52 | 52 | 52 | 54 | 53  | 53  | 53  | 54 | 52 | 53 | 628 |

#### ① ご利用者満足のサービスの提供

- ・デイルームでは、利用者様が作られた作品や季節に応じた壁紙を一緒に作り、皆様が楽しんで過ごせる空間作りができた。
- ・同一法人内で運営する虹のそらこども園、おひさま、ゆうゆうの園児との異世代交流も大変好評であった。
- ・レクリエーションにおいては、運動系（ゴルフ、ペタンクなど）のレクに加えて、フラワーアレンジメントや雑貨作りなど、自宅に帰っても飾りたくなるような作品を考えて利用者と一緒に作ることができた。
- ・ボランティアによる絵手紙教室を月に1回開催し、その月ごとの旬な題材を選びながら苦手な方にもできるように工夫を行い、ご利用者も参加され好評となった。
- ・個別機能訓練は、柔道整復師、理学療法士、看護師による3人体制で行い、情報を共有し、今までできてなかったプログラムを構築し、きめ細かなサービスが提供できた。また、記録システムを活用し、具体的に数値を確認しながら機能訓練計画書を作成し個別に支援した。
- ・歩行訓練は、職員、利用者同士で会話も弾み、コミュニケーションを取りながら、楽しく施設内の廊下や花が咲いている畑周辺などを歩き、季節を感じながら楽しく筋力維持に繋がるよう支援した。

#### ② 目標稼働率

- ・目標稼働率73%に対して、77%と目標を達成できた。
- ・今年度は、一定の稼働率を維持できており、6月、7月と稼働率が80%となった。
- ・利用者同士が仲良く、初めての方も溶け込みやすい環境であるため、新規利用者増につながった。また、要支援から要介護になるなど、介護度変更により利用日数を増やし、稼働率アップと増収に繋がった。
- ・ご家族・ケアマネジャー・関係機関等と密に情報共有をしながら信頼関係の構築ができた。
- ・今後目標とする、80%を維持する為に、現状のサービスだけでなく、利用者の声を下にサービスの質や満足度を考えながらチームワークを持って運営を継続するよう努めた。

#### (4) 人材の確保・取組み

##### ① 外国人介護職の雇用の取組み

- ・令和7年2月にフィリピンから技能実習生2名を受入れ、2年目を迎えた。2名とも日本での生活に慣れ、勤勉で明るく日本人スタッフとのコミュニケーションも上手く取れている。担当者を決め、毎日の指導内容を記入し、介護業務の習熟度などを定期的に確認することができた。
- ・介護については、介護技能実習評価試験初級を合格し、先輩スタッフの指導により技術面や入居者との会話もほぼ問題ないレベルである。早出、遅出業務も覚え、ゆうりん苑運営に大きな貢献となった。

・今後、継続して特定技能実習生や留学生を受け入れることについて、外国人が共通して理解できるマニュアルや規程の作成を開始し、運用できるよう準備を行った。

## ② 人材の育成・定着

・今年度は、一人ひとりの面談を行い、不安や悩み、職場環境の改善などについて聞き取りし、適切な人員配置や有休を取りやすい、休憩時間がきちんと取れるなど、職場環境の改善、お互いが感謝の言葉をかけ合う協力的な職場づくりに努めた。

## ③ 研修・訓練等

### (施設内研修)

| 日時       | 研修名                  | 主催・講師                          | 参加者  |
|----------|----------------------|--------------------------------|------|
| R7.5.29  | B C P 防災研修           | 事務長 阿部 佳世                      | 16 名 |
| R7.7.11  | 看取り研修                | 株式会社 響 井上和弘 様                  | 38 名 |
| R7.7.29  | 入居者の急変に対応する B L S    | 愛媛県看護協会<br>クリティカル認定看護師 箭代理沙 先生 | 19 名 |
| R7.9.4   | ノーリフティングケア体験研修       | 愛媛県社会福祉協議会<br>河野先生・成川先生・堀川先生   | 18 名 |
| R7.12.12 | 認知症スキルアップ YouTube 研修 | 松山市社会福祉協議会<br>和田裕介先生           | 10 名 |
| R7.11.15 | 感染症研修                | 主任 菅原 味里                       | 8 名  |
| R8.1.22  | 看取り研修                | 越智ペインクリニック<br>越智 貴紀先生          | 20 名 |

### (施設外研修)

| 日時       | 研修名                  | 主催／場所                               | 参加者            |
|----------|----------------------|-------------------------------------|----------------|
| R7.5.14  | 福祉・介護関係事業所合同入職式      | 愛媛県社会福祉協議会／愛媛県県民文化会館                | 矢野             |
| R7.5.15  | 友悠グループ役員研修           | 社旗福祉法人悠友会/梶原町複合福祉施設ゆりゆすはら 梶原こども園    | 永田<br>阿部<br>平山 |
| R7.6.12  | 高齢者虐待について            | 松山長寿福祉課 基幹型地域包括支援センター／フリースペースジョー・プラ | 中西             |
| R7.6.20  | 「福祉の職場」新任職員研修会       | 愛媛県社会福祉協議会／愛媛県総合社会福祉会館              | 岡田<br>矢野       |
| R7.8.4   | 外国人介護人材向け集合研修        | 愛媛県外国人介護人材支援センター／愛媛県総合社会福祉会館        | ロレイン<br>ブレッシー  |
| R7.10.24 | 働きやすい職場づくり横展開(オンライン) | 介護労働安定センター<br>鈴木 健太先生               | 阿部             |
| R7.11.10 | 災害対応研修               | 松山市社会福祉協議会／松山市総合福祉センター              | 平山             |
| R7.11.12 | ノーリフティング             | 愛媛県社会福祉協議会／愛媛県総                     | 日野平            |

|          |                  |                         |    |
|----------|------------------|-------------------------|----|
|          | スキルアップ研修         | 合社会福祉会館                 |    |
| R7.12.10 | 技能実習責任者講習(オンライン) | 国際人材協力機構<br>講習業務部 養成講習課 | 鈴木 |
| R8.1.21  | 認知症介護基礎研修(オンライン) | 介護労働安定センター愛媛支部          | 西田 |

(訓練一覧)

| 日時      | 訓練名              | 参加者 |
|---------|------------------|-----|
| R7.5.16 | 災害時情報システム訓練      | —   |
| R7.6.27 | 避難訓練(日中想定)       | 25名 |
| R7.6.27 | BCP 緊急連絡網訓練      | 45名 |
| R7.12.2 | 感染症訓練            | 12名 |
| R8.2.27 | 避難訓練・BCP訓練(夜間想定) | 8名  |

#### (5) 人事

入職者：【介護職員】正職1名、パート3名      【看護職員】正職2名  
           【機能訓練指導員】パート1名      【事務員・業務員】パート2名

退職者：【介護職員】正職3名、嘱託1名、パート3名  
           【看護職員】正職2名、パート1名  
           【施設長】嘱託(ご逝去)

(職員の入退職者数)

| (人)  |     | 2025(令和7)年度 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 計 |
|------|-----|-------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|---|
|      |     | 4月          | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |   |
| 入職者数 | 正職  | 1           |    |    |    |    |    | 1   | 1   |     |    |    |    | 3 |
|      | パート |             | 1  |    | 1  |    | 1  |     | 3   |     |    |    |    | 6 |
| 退職者数 | 正職  |             | 1  |    | 1  | 2  |    |     |     | 1   |    |    |    | 5 |
|      | 嘱託  |             |    |    |    |    |    |     |     |     |    | 2  |    | 2 |
|      | パート |             |    |    |    | 1  | 1  |     | 1   |     |    | 1  |    | 4 |

- ・正職の看護師2名が家庭の事情により退職したが、特養でのオンコールありでの看護師採用は大変難しく、今回はオンコールなしの求人を出した結果、採用することができた。
- ・人間関係で退職した職員は、数名であった。
- ・退職者は前年度より2名少ない10名であった。
- ・職員退職後、人員基準確保のために一定期間、派遣職員の契約が予定よりも多かった。



・職員の状況 ( ) 内は非常勤の職員数

令和8年3月31日現在

| 施設長        | 事務長         | 事務員   | 生活相談員 | 介護支援<br>専門員 | 看護職員       | 介護職員       |
|------------|-------------|-------|-------|-------------|------------|------------|
| 1          | 1           | (1)   | 2     | 1<br>(1)    | 2<br>(4)   | 8<br>(15)  |
| 派遣<br>介護職員 | 機能訓練<br>指導員 | 管理栄養士 | 嘱託医   | 宿直          | 運転手<br>業務員 | 合計         |
| (3)        | (2)         | 1     | (1)   | (2)         | (1)        | 16<br>(30) |

常勤 16人 非常勤 30人 合計 46人

#### (6) 地域交流と地域貢献

2ヶ月に1回開催される「運営推進会議」では、地域包括支援センター、津吉地区総代、高齢クラブ会長、民生・児童委員の方たちと交流を図り、地域の問題や災害時についてなどの情報共有を行った。高齢の津吉町清掃や公園の清掃に参加し、地域住民の方や近隣施設の方とも交流を図ることができた。